

令和6年度における農福連携等の取組状況について

○令和6年度農福連携等による障がい者の就労促進事業

1. 6次産業化への取組拡大

(1) 法律に対応した6次産業化商品支援

1) 食品表示法に関するセミナーの開催 (計3回)

2) 6次化商品開発のための講習会開催 (2回、3事業所)

バターナツカボチャういろのブラッシュアップ、サツマイモの蒸しパン等

3) 自作農の農作物や連携農家の農作物、6次産業化商品に貼って販売する、
ノウフクシールの増刷



2. 農福連携マルシェの展開

(1) 農福連携等マルシェの出店 (県内・県外)

1) 県外マルシェ (新潟県、福岡県、岡山県)



2) 県内での定期的なマルシェ開催

(毎月2回、フジグラン北島 計20回、延べ39事業所が参加)

3) 小規模マルシェ

(毎月第3火曜日、awanowaカフェ 計12回、延べ44事業所が参加)



4) 高等学校との連携によるマルシェ

(徳島県立城西高等学校校内農産物販売所そよかぜ 計 18 回、延べ 42 事業所が参加)

5) awanowa 移動マルシェ (計5回)

- ・移動販売車を所有する事業所が、農作物等を栽培する事業所等から農作物等を仕入れて販売する。
- ・販売：6事業所、農作物・6次化商品出品
- ・販売場所：徳島市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、石井町、勝浦町



6) 視察 (福井県)

7) DX 動画における販売促進

8) 資材の製作

- ・卓上ミニのぼり
- ・かご
- ・awanowa カフェ、ノウフクマルシェ看板

3. 農福連携等に取り組む事業所等への意識啓発

(1) 農福連携等意識啓発セミナーの開催

1) 農福連携等意識啓発セミナー

- ・しいたけ十：しいたけ生産者を中心として実施 (R6.8.1)
- ・畜産十：畜産業者を中心として実施 (R6.8.28)
- ・徳島県栽培漁業推進協議会：水産振興課が実施する当該協議会での情報提供 (R7.2.18)

→農林水産業経営者や就労支援施設の職員等に対し、農福連携等の入り口として、障がい特性の理解を深めるとともに、県内事例発表により意識啓発を図る。



2) ノウフクリーフレットの作成

4. 障がい分野と農業等の分野の関係者の相互理解促進

(1) 事業所・農業者への相互訪問会の開催 (R6.11.12)

- ・県内で農福連携等を実施している就労支援施設及び、農業者の現場に訪問し、見学することで農福連携等の相互理解を図る。



○令和6年度農福連携プラス推進モデル事業

1. 自作農・施設外就労を行う就労施設に対する支援

(1) 農福連携等課題解決「ワンストップ窓口」専任職員の配置

- ・相談件数 32 件、ほ場等の見回り 65 回を実施。相談件数のうち、専門家の派遣は 22 件（うち農業支援センター11 回、農家 11 回）。

(2) 農福連携等の推進に係る会議の開催

- ・農福連携等推進検討会（計 2 回）

(3) スタートアップモデルほ場の設置

- ・自作農に初めて取り組もうとする事業所や、新しい品目の栽培に挑戦しようとする事業所に対して、支援を行う（6 事業所）。
→ナス、ピーマン、オクラ、ブロッコリー、ネギ、春ニンジンに挑戦
- ・自作農を行う事業所に対して農機具のリースを行う。



(4) ノウフク・マッチングイベントの開催

1) ノウフク・マッチングイベント

- ・しいたけ+：しいたけ生産者を中心として実施 (R6.8.20)
農業者等 9 × 就労施設等 9 が参加
- ・畜産+：畜産業者を中心として実施 (R6.9.11)
農業者等 4 × 就労施設等 4 が参加
- ・ノウフクマッチングバスツアー (R6.11.12)
農業者等 4 × 就労施設等 4 が参加



2) 実践ノウフク（昨年度マッチングを含む）

NO.	作業内容	NO.	作業内容
1	にんにくの収穫作業	5	ネギの調製、袋詰め作業
2	畝間、ハウス内の除草	6	さつまいものひげ根取り
3	しいたけの軸切り、袋詰め作業	7	牧草予定地の清掃作業
4	いちごのポット作り作業		



3) 「福祉×〇〇」の増刷

(5) マッチングを行う農福連携事業専任職員の配置

1) その他のマッチング



2. 地域産業の連携

(1) ノウフクの周知動画、動画マニュアルの更新

1) VR動画の制作

（ブロッコリーの植付け、しいたけ作業（収穫、陳列、浸水、芽かき、調製・袋詰め）、レタスの植付け）

2) 農作業VR動画出張体験会（4事業所）



3. 畜産・林業（しいたけ）分野との連携

(1) 資料作成（新聞広告）

1) 情報フリーペーパーstartt

・徳島新聞情報フリーペーパーstarttに「農×福 JOURNAL」として、農福連

